

令和 2年度 施策評価シート（令和元年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち  
 施策 01 子育て支援の充実  
 主管課： 児童福祉課  
 関係課： 保健センター、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 18歳以下の子ども及び保護者	意図（どのような状態にしたいのか） 子どもを安心して育てることができるまちをつくる。
------------------------------------	---

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

安心して子育てができるまちだと思う子育て世帯の割合					(%)	児童福祉課
基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)	
84.20	84.70	86.80	86.80		85.00	
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度より2.1%増加しています。 (原因) 児童センターや守谷駅前親子ふれあいルームの設置、地域子育て支援センターが行う親子で交流・活動ができる場の提供、保育所等におけるさまざまな保育サービスの提供などの充実を図っていることや、市内の公園が整備され、安心して遊べる場が多くあることが周知されていると考えます。				
対前年度	向上					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H30年度	R01年度	R02年度		目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	3,617,679	3,679,308	4,282,678	5,434,852	4,429,167
人件費	211,050	223,315	249,774	0	0
トータルコスト	3,828,729	3,902,623	4,532,452	5,434,852	4,429,167

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度
01 多様な保育サービスの提供	向上	維持	向上			1,758,734	1,963,548	2,599,309	3,800,777	2,812,245
02 安心して遊べる場の提供	維持					269,774	139,103	138,565	154,108	147,119
03 子育て不安の解消と交流の場の提供	低下	向上				35,887	41,836	47,856	58,198	48,034
04 子育ての経済的負担の軽減	向上					1,550,051	1,529,474	1,489,173	1,412,896	1,412,896
99 施策の総合推進						3,233	5,347	7,775	8,873	8,873

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

<p>令和元年度に「第2期子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。共働き家庭の増加や、働き方の変貌により多様化する保育ニーズに対し、子どもを安心して産み育てることができるよう、保育の場の確保として保育所等の施設整備に重点をおき施策に取り組んでいます。</p> <p>今後においても、保育の場と質の確保につとめ、子育てに不安を抱える保護者への支援を充実させながら、健やかに暮らせるまちを目指していきます。</p>	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

<p>令和元年10月から幼児教育・保育無償化の開始に伴い、教育・保育ニーズが高くなることが予想される。このため、令和元年度内に策定する「第2期子ども・子育て支援事業計画」においても教育・保育の見込量を把握し、入所不承諾児童の解消に努める。また、保育開設についても、予定どおり工事が施工するよう事業者と連携を図る。児童クラブについては、小学校区内の児童数を的確に把握し、待機児童が生じないよう取り組む。</p> <p>「子育て世代包括支援センター」の運営による切れ目のない子育てに関する相談支援の実施等についても引き続き取り組む。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

次年度の方向性

<p>「第2期子ども・子育て支援事業計画」に基づき、令和2年度中に施設を整備し、教育・保育ニーズに対する保育の場が確保され、入所不承諾児童は減少する見込みである。今後、計画の内容と実際の状況に乖離がある場合は必要に応じ見直しを検討する。</p> <p>子どもの居場所や子どもが安心して遊べる場の提供、また子育てに不安をもつ保護者が気軽に相談できる場の拡充については、引き続き施策に取り組み、健やかに暮らせるまちを目指して、子育て支援の充実を図る。</p>	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加